

## 令和4年度 第4回 西小学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年2月9日(木) 13時30分から16時00分まで
2. 開催場所 西小学校 会議室
3. 出席委員 中谷 忠司、土屋 雅利、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子  
岡野 みの、福田 達樹、平出 慎一郎
4. 欠席委員 鈴木 将孝
5. 学 校 青島 治道(校長)、長瀬 千晶(教頭)、佐野 教代(教務主任)  
古田 秀樹(CS担当職員)、加美 美紀(CSディレクター)
6. 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
9. 議長の選出

加藤委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

### 10. 協議事項

- (1) 学校関係者評価アンケートについて
- (2) 学校運営協議会の自己評価について
- (3) 来年度の学校運営の基本方針の説明

### 11. 会議記録

#### (1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価アンケートについて説明があった。このアンケート結果から見えてくる課題、それに対する改善策をテーマに、グループに分かれて意見を出し合い、以下の発言があった。

#### Aグループ (中谷委員、土屋委員、加藤委員、山田委員)

- ・ 困っている子に目を向けて、その子の特性を生かした支援をしていく、アンケートの答えに対して「そう思わない子」の意見を聞くことが大事なのではないか。そこから課題が見えてくるだろう。
- ・ ICTを活用することで、一人でいることはできる。しかし、みんなと一緒にいることが苦手だったり、仲間を作ることができない子になってはいないだろうか。リーダーシップをとる子を育てる必要もあるのではないか。
- ・ 保護者への質問に「子供は、難しいことでもあきらめず、粘り強く取り組むことができた」とあるが、難しいこととはいったい何だろうか。表現がわかりにくいと感じた。
- ・ 保護者が子供をしっかり見守り、安定している学校だということがアンケート結果からわかる。

#### Bグループ (三上委員、岡野委員、平出委員、福田委員)

- ・ 児童への質問に「むずかしいことでもあきらめず、ねばり強く取り組む・・・」とあるが、

- 頑張ることが出来ない子をどのようにして頑張らせるのか、親もその方法を知りたい。本人が頑張ったことを「見える化」し、ここまで頑張ったねと親子で確認できると良い。
- ・ 頑張ることが出来ない子の声をひろえると良い。そこから、何かが見えてくる。
  - ・ 「働きがい改革」を推進するための改善を行ったと答えた教職員の割合が70パーセントを超えているのは、かなり高評価だと思う。成果が表れている。
  - ・ 「働きがい改革」のさらなる改善策として、さくら連絡網やグーグルクラスルームを使って、宿題チェックをしてはどうか。先生のチェックも簡単に済むのではないか。

その他以下のような意見も出された。

- ・ 改善策を見出すだけでなく、アンケートに「そう思わなかった」子に対して、しっかりとケアが大事だと感じる。(福田委員)
- ・ 子供同士でグループ討議をすることが必要だと思う。意見を出し合い、コミュニケーションさせて、時にはぶつかりあいながら、具体的なものにしていくことも大事。(山田委員)
- ・ コロナ禍で、子供のがんばりが見えづらかったこともあるだろう。(加藤委員)
- ・ 働きがい改革を推進し、不要なことを減らした先に何があったのか、もう少し詳しく書かれていると良い。(平出委員)

## (2) 学校運営協議会の自己評価について

教頭より、今年度の学校運営協議会の自己評価について説明があった。今年度の協議会において、学校運営の基本方針および学校運営に資する活動についての評価を確認し、その後来年度に向けての目標、取組みについて熟議が行われた。委員からは以下の発言があった。

- ・ 来年度の学校支援コーディネーターについて、お知らせいただきたい。コーディネーターの方が、先生の需要を聞き取り、共に考えてくださることで、子供たちもいつもの授業と違った話を聞く機会が増えるだろう。(福田委員)  
→学校支援コーディネーターは、当小学校の保護者の方に内諾をいただいた。来年度より協議会の委員にも加わっていただく。(教頭)
- ・ 人材バンクの話が出たが、昔のくらしやの道具の説明などは、地元の高齢者の方に行っていただくなど、地域で顔を見る方をお願いすると良いのではないか。(岡野委員)
- ・ 来年度に向けての目標の話が出たが、今年度の目標は何だったのか。それをもう一度確認したい。また、学校の問題点を解決していくのがこの協議会の役割の一つだと思うので、校内の課題をもっと深掘りし、先生方で徹底的に議論した上で、CSに披露してはどうか。(山田委員)  
→今年度は西小CSの初年度にあたり、まずは学校の実態を知ってもらうことが重要と考えている。(校長)
- ・ 働きがい改革を進めていく上で、先生方を応援していきたいと思うのだが、実際のところ先生の顔と名前が一致していない。例えば、西小ブログで先生の声が聞けるとよい。(平出、岡野委員)

### (3) 来年度の学校経営の基本方針について

校長より、来年度の学校経営の基本方針について説明があった。

話題に挙がっていた「働きがい改革」のその先に何があるのか、これについては西小議員で共通理解している。その先には「新しい時代の教育」がある。この教育を推進していく時間を生み出すことがねらいである。

そこで次年度は、学校経営方針を概ね変更しないで継続していくが、特に本校で大切にしたい学力について明らかにしていく。職員で話し合い、西小学校としては「自分の世界を広げたり深めたりする力」として、かかわり対話しながら新たな考えや解決策を見出す思考力が大切であると結論づけた。

そのためには、魅力的な活動、実体験がどうしても必要になる。そこで、次年度は特に方針A「キャリア教育を実践に具体化」に力を入れ、委員の皆様から様々なアイデアをいただきたい。必要に応じて委員の皆様と本校教職員が話し合う機会を設けていきたい。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

連絡事項として、福田委員より5年生の防災学習（学区内の水害と対策について）の案内があり、参考資料が配布された。

## 12. 報告事項

教頭より、年度初めに説明があった「夢育やらまいか事業」についての報告があった。

### その他連絡事項等

教頭より、次年度の初回会議は令和5年5月11日（木）13時30分より会議室で開催する旨の報告があった。